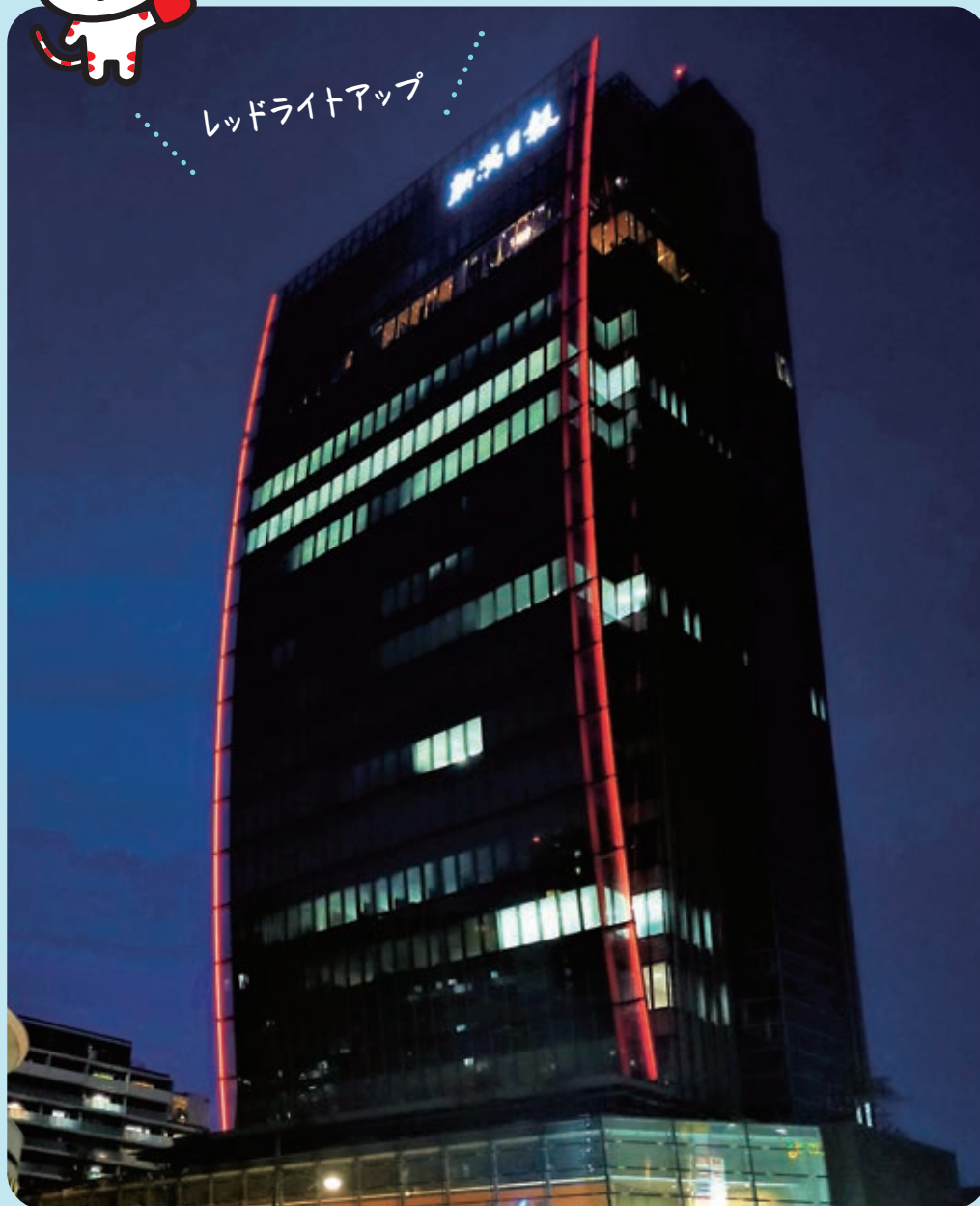


日赤にいがたNEWS

N I S S E K I N I I G A T A

令和3年7月
発行



赤十字運動への理解を深める「世界赤十字デー」の5月8日を中心に、全国34か所のランドマーク施設が赤くライトアップされました。新潟県では8日、新潟日報メディアシップ(新潟市中央区)が赤くライトアップされ、赤十字ボランティアの方々を中心に赤十字運動についてのチラシ入りのティッシュを配布し、PRを行いました。



日本赤十字社 新潟県支部
Japanese Red Cross Society



令和2年度収支決算

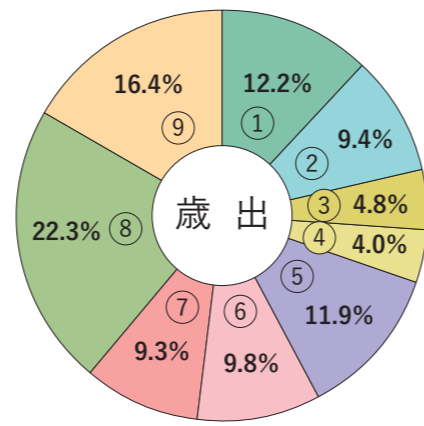
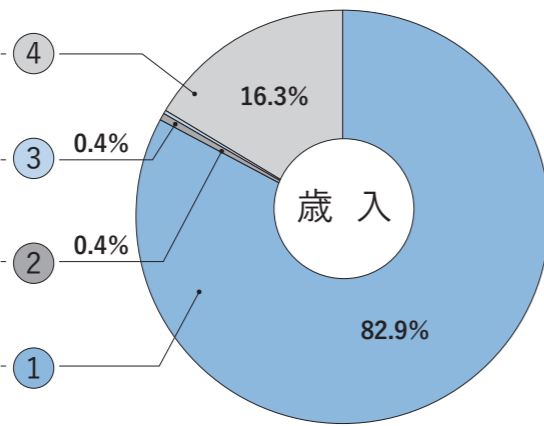
新潟県民の皆さまからのご寄付によりいのちを救う様々な活動を行いました。

●前年度からの繰越金
61,092,403円

●講習会受講料等
1,523,525円

●災害(台風15号・19号)
にかかる国からの補助金
1,568,775円

●県民の皆さまからのご寄付
311,655,953円



歳出



1 国際救援や全国の赤十字活動などに
45,923,392円



2 災害時の救護活動や救護看護士の養成などに
35,188,632円



3 防災知識の普及活動・AED使用方法の講習会の実施などに
17,983,306円



4 交通安全帽の交付、青少年への防災教育、奉仕団の育成などに
14,895,436円



5 市区町村における地域に根差した赤十字活動に
44,731,581円



6 赤十字活動をご理解いただくための広報活動に
36,762,260円



7 赤十字救護活動の拠点となる赤十字会館の整備積立に
35,000,000円



8 災害時即座に対応するための支部運営業務に
83,737,402円



9 次年度の赤十字活動に
61,618,647円



未来を担う子どもたちのために今年も黄色い交通安全帽を寄贈しました

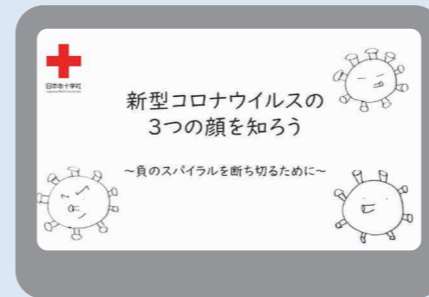


小学校新1年生を交通事故から守ることを目的に、昭和47年から県・市町村・日赤が共同で交通安全帽を交付しています。今年も、みなさまからのご寄付をもとに、17,487個の帽子をお届けすることができました。ご協力いただきありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で子ども達を取り巻く環境も大きく変化しました。引き続き、日赤ができることに全力で取り組んでまいります。



差別を防止するために

日赤オリジナルで新型コロナウイルスをわかりやすく説明する動画を作成しました。



県内の小中学校など教育現場で活用されました



病気→不安→差別、そして差別がさらなる病気の広がり...差別に陥ってしまうころの仕組みを理解し、負のスパイラルを断ち切って思いやりのスパイラルにつなげましょう!

差別を防止するために日赤がオリジナルで作成した動画教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」はこちら



講習会を実施しています



日本赤十字社では、皆様からいただいた寄付金をもとに、いのちと健康を守るための正しい知識と技術を地域住民の方々にお伝えをする講習を実施しています。なお、現在は新型コロナウイルス感染防止対策として、資材の消毒を徹底し、密集、密閉、密接を避け、皆様が安心して受講できる講習会を開催しています。

受講者からの感想

一次救命処置について、人形を使い実践で体験できてよかった。自分自身でも繰り返し練習することが大事だとわかった。とっさのときにできるようにしたい。

一人一セットの資材を用いて、心肺蘇生の方法やAEDの使い方をお伝えしています。

講習会の詳しい内容については、支部ホームページをご覧ください。講習会はどなたでもご参加いただけます!



わたしも
赤十字
vol.1

レッドライトアッププロジェクトに参加して下さった
青年赤十字奉仕団(赤十字ボランティア)の佐々木さんにお話を聞きました!



新潟青陵大学・新潟青陵大学
短期大学部青年赤十字奉仕団
佐々木 亜友 さん(写真右)

次回以降も
支援者の声をお届けします。



赤十字について
どんなイメージがありますか?

以前からボランティア活動に興味があったので大学の青年赤十字奉仕団に加入しました。赤十字という献血のイメージが強かったのですが、実際に活動に参加してみると、医療だけでなく、災害支援のような人を支える活動も行って、困っているすべての人に手を差し伸べる組織だと知りました。



レッドライトアッププロジェクトに
参加した理由はなんですか?

私自身の赤十字への理解を深めるとともに、多くの方々に赤十字活動を知っていただくために貢献したいと思い参加しました。



今までどのようなボランティア活動に
参加しましたか?

コロナ禍であまり外出できない親子のための映画観賞会の受付・誘導や、子どものボランティア体験のサポートなどの活動にも参加しています。



今後どのような
活動をしていきたいですか?

今までの経験を活かし、子どもから年配の方まで一緒に楽しく交流する機会をつくり、地域が健康で笑顔あふれるようなボランティア活動ができればと考えています。

「いのちをまもる」拠点づくりへ

～新たな赤十字会館を建設します～

当支部は明治20年に設立され、今年で133年目を迎えました。当初は新潟市中央区営所通に事務所がありましたが、昭和49年に同区関屋下川原町に赤十字会館を建設し、まもなく築50年を迎えます。昨年3月には会館に同居していた血液センターが同区美咲町へ移転。老朽化による維持管理費増加の抑制と、「いのちをまもる みらいにつなぐ」ための機能強化を目指し、現有地に新会館を建設いたします。(完成は令和5年春の予定)本年秋からは、事務所を一時移転するため、皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご承知おきください。一時移転先は中央区内を予定しております。なお、進捗状況については本紙でも逐次ご報告してまいります。



皆さまのご支援で日本赤十字社は活動しています。
赤十字活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

